

教員数を入力すると研究業績数の上限が表示されます。
小規模の組織や教員数が「0人」になる場合などの理由がある場合には、機構までお問合せください。

第4期 研究業績説明書 イメージ

法人番号①	XX	法人名	〇〇大学	研究組織番号②	X	研究組織名	〇〇研究院(〇〇系)	教員数③	50〔人〕	提出できる研究業績数の上限④	10〔件〕
-------	----	-----	------	---------	---	-------	------------	------	-------	----------------	-------

1. 研究組織の目的に沿った研究業績の選定の判断基準【400字以内】⑤

原則、現況分析単位として登録してある組織の名称で入力してください(あまりにも長くなる場合には省略しても構いません)。

本〇〇〇は、~~~~~っており、~~~~~の特色がある。したがって、~~~~~という点が最も重要であると考えている。また、~~~~~であり、~~~~~であるため、~~~~~という点も考慮している。それらを踏まえ、~~~~~という判断基準で研究業績を選定している。

小区分番号を半角数字で入力すると、小区分名が表示されます。
正しい小区分名となっているか、必ず御確認ください。【例】01010(哲学および倫理学関連)

2. 選定した研究業績

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、文化的意義、 経済、⑨	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標等) 【400字以内。ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、 文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して選定した研究業績番号 ⑪	共同利用等 ⑫	代表的な研究成果・成果物 【最大3つまで】 ⑬	
									書誌情報等	掲載論文のDOI (付与されている場合)
1	XXXXX		〇〇〇〇の研究 本研究は、〇〇〇〇に関し、従来より課題となっていた~~~~~ ~について、~~~~~ ~という理論を用い、分析・解明したものである。この手法は、~~~~~ ~であることが明らかとなり、~~~~~ ~~~~~することによって~~~~~ ~~~~~できることを示すことができた。	SS		(1)は2025年度の日本〇〇学会の〇〇賞を受賞した論文である。この論文は、特に~~~~~ ~~~~~という点で評価が高く、□□学会の□□において、「~~~~~ ~~~~~」と言及されている。被引用回数に関しても、◇◇◇◇において、合計〇回引用されている。また、本業績に関連して、△△国際会議では「~~~~~ ~~~~~」の演題で、××国際会議では「~~~~~ ~~~~~」の演題で招待講演を行い、その他国内の学会等を含めると、計〇回の招待講演を行った。本業績は、当該分野のみならず、関連する△△△△の研究にも大きく貢献し、国際学術誌『▽▽▽▽』において、「~~~~~ ~~~~~」と高く評価されている。			(1) 「書誌情報等」欄には、研究テーマに関する代表的な研究成果・成果物を最大3つまであげてください (記入に当たっては、「実績報告書作成要領」22頁を参照してください)。 ※数字、英字及び記号は半角で入力してください。 (2) (3)	〇〇.〇〇〇〇/〇〇〇〇〇〇 DOIを入力する場合には、必ず半角英数字、記号で入力してください(冒頭に「https://doi.org/」、「DOI:」、「なし」などは不要です)。
2	XXXXX		△△△△の研究 本研究は、△△△△について、従来まで考証されていなかった~~~~~ ~~~~~の視点から考察したものである。本研究では、特に、~~~~~ ~~~~~という点に着目し、定説とされていた~~~~~ ~~~~~について、~~~~~ ~であることを論証したものである。	S		(1)は、当該研究の中核をなす論文、(2)は、(1)で論証した~~~~~ ~~~~~を更に~~~~~ ~~~~~のアプローチからも明らかにした論文であり、両論文は2023年度の日本△△学会の△△賞の対象となったものである。(3)は、(1)(2)の内容を中心に、最近の研究動向をまとめた総説であり、□□学会の□□において、「~~~~~ ~~~~~」と言及されている。また、これらの論文等から構成される「△△△△の研究」について、国際的学術誌『◇◇◇◇』において、「~~~~~ ~~~~~」との書評を受けており、~~~~~ ~~~~~という点が評価されている。	X-X-X	○	(1) DOI以外 (ISSNやISBN等) は入力しないでください。 (2) (3)	
3	XXXXX		◇◇◇◇の研究 本研究は、従来の◇◇◇◇に関し、新たに~ ~~~~~を応用し、~~~~~ ~~~~~という技術手法を開発したものである。これは、~~~~~ ~~~~~で注目されている~~~~~ ~~~~~プロジェクトの中心的な役割を担うものであり、当該技術に基づく▽▽▽▽システムにより、~~~~~ ~~~~~を可能とした。	SS		(1)は実用性において評価の高い論文に与えられる〇〇学会の〇〇賞を2023年度に受賞した。受賞理由は、「~~~~~ ~~~~~」と記されている。また、(1)で示された~~~~~ ~~~~~という技術手法は、××新聞(2022年〇月〇日)、△△新聞(同年〇月〇日)、◇◇新聞(同年11月24日)で書評に取り上げられ、「~~~~~ ~~~~~」等の高い評価を受けている。当該技術は2025年に実用化され、世界120か国において製品化、普及しており、全世界の人々の生活に新たな基軸をもたらした。また、〇〇社の報告(報告書『〇〇〇〇』2025年〇月)に依れば、当該技術に基づく▽▽▽▽システムの運用による全世界の経済効果は年間75億米ドルと報じられている。		○	(1) (2) (3)	

業績番号	小区分番号 ⑥	小区分名 ⑦	研究テーマ及び 要旨【200字以内】 ⑧	学術的意義 ⑨	社会、文化的意義、 経済、⑨	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標等) 【400字以内。ただし、「学術的意義」及び「社会、経済、 文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800字以内】 ⑩	重複して 選定した 研究業績 番号 ⑪	共同 利用等 ⑫	代表的な研究成果・成果物 【最大3つまで】 ⑬	
									書誌情報等	掲載論文のDOI (付与されている場合)
4	XXXXX		◎◎◎◎の研究 本研究は、～～～～や～～～～～～～ ～に課題を抱える～～～～～～～などが、～～ ～～のために◎◎◎◎の役割が重要になって いる。～～～～の開発など、～～～～～の実 現につながる。これにより～～～～～という研 究成果をあげた。		S	(1)については、～～～～～や～～～～～が評価され、～～～～～協会 が選ぶ2024年度○○○○賞を受賞し、このほか、～～～～～会による○○○○賞 及び○○○○賞も受賞した。これまで、△△△、◇◇◇などに出版するとともに、 ◎◎◎、□□□などのテレビや○○新聞、○○新聞、○○新聞など数多くのマス コミに取り上げられている。現在までに～～～～～～～、～～～～～、～～ ～など数多くの企業に採用されている。			(1)	
									(2)	
5	XXXXX		□□□□の研究 本研究は、～～～～～について、～～～～ ～の実現を目的とし、～～～～～ができる開発 のための基礎研究を行い、検証の上、□□□□ の実用化を目指している。		SS	【社会、経済、文化的意義】 本研究は、～～～～～～～～～というコンセプトを～～～～～に展開するもの であり、～～～～～～～～～を開発し、～～～～～～～～～に導入した結 果、～～～～～を実現できることを証明した。本研究に対しては、記載の特許3件 を含め、合計○件の特許が登録されている。 本研究に関連して、～～～～～～～～～や、～～～～～～～～～などの国 内外の招待講演(計△件)も行っており、国際会議「～～～～～～～～～」から ◇◇◇◇Awardが授与された。			(1)	
									(2)	
									(3)	
6	XXXXX		○○○○の研究 本研究は、○○○○○としての特性を、～～～～ ～～～～～～～～～を通して明らかにした。～ ～～～～～という概念に沿って、～～～～～～ ～～～～～と、～～～～～～～～～～～～ ～との相関関係を明らかにし、～～～～～～ ～を見出している。 第1部は、～～～～～～～～～という総論であ り、第2部は、個別の～～～～～～～～～の分析を 通して検証した各論である。	SS	S	【学術的意義】 『○○○○○○の○○○○○』は、刊行後、～～～～～に対して贈られる「△△△ 賞」を、また、～～～～～に対して贈られる「△△△賞」を受賞した。前者におい ては、～～～～～～～という展望をもたらした点(◇◇◇◇氏選評)、後者において は、～～～～～で、かつ～～～～～～～という点(□□□□氏選評)が評価され た。 【社会、経済、文化的意義】 『○○○○○○の○○○』は、「△△△賞」受賞時の選評において「～～～～～を、 社会に対し、～～～～～としている。」という評価が与えられており、また、○○新 聞(2025年○月○日)、××新聞(同年○月○日)で書評に「△△△」が特集され るなど、社会的な反響があった。			(1)	
									(2)	
									(3)	

